

## 持続可能な航空燃料（SAF）の使用

- 「防衛省気候変動対処戦略」における具体的な施策として、従来の化石燃料に替わる主にバイオマス由来原料や使用済み食用油などを原料とする航空燃料『SAF※』を使用する。
- これにより従来の石油系燃料と比較し、**約80%の温室効果ガス排出の削減効果**がありながら、同規格として使用が可能のため、**SDGsに資する取組**の推進にもつながる。
- 航空自衛隊は、2022年11月に内閣総理大臣のASEAN関連首脳会議等出席の際の政府専用機の運航において、SAFを初めて使用。  
(その後、2023年1月の政府専用機運航時にも、SAFを使用)

※SAF:Sustainable Aviation Fuel

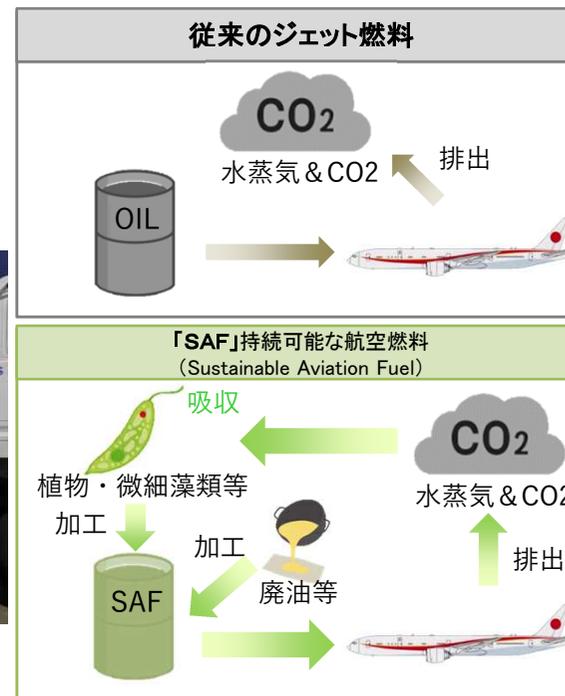
### 【給油時の写真】



2022年11月  
政府専用機へ初めてSAFを給油



2023年1月  
政府専用機運航時にSAFを使用



### SDGsに資する取組

- SAFの使用は、SDGsの優先課題の5「省・再生可能エネルギー、防災・気候変動対策、循環型社会」に該当し、**目標（ゴール）7、13に寄与**。



→目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」



→目標13「気候変動に具体的な対策を」

2050年を見据えた装備品のエネルギーシフトへの対応、脱炭素社会の実現にも寄与